

みちしるべ NO. 6

学校教育目標「自分から行動できる子・すすんで学ぶ子・たすけ合う子・きたえる子」



学びあい 支えあい 高めあい 笑顔あふれる学校
優しさと厳しさと温かさで
子どもを鍛え、育む地域の学校を目指して



情熱・本気・信念・執着心

校長 川島 正晴

梅雨空と夏のような入道雲のある青空が交互にやってくる季節となりました。下校時の夕立にも気を配り、安全見守りをしてくださる方々や、お迎えに来ていただく家族の皆様にご心から感謝申し上げます。

権小は今年も「学びあい」で主体的・対話的で深い学びを実現しつつ、タブレット配布による GIGA スクール構想を「権小 DX」として推進し、「令和の日本型学校教育」の実現に先んじて取り組んでいるところです。



4月・5月と、多くの方々に学校にお越しいただきました。学校応援団の方々には、子どもたちとの学習の機会をいただき、学校の教育活動を取り戻しつつあります。参加される方々には、名簿の作成・検温・アルコール消毒を行い、念入りに感染症対策を行っています。

それでも、地域の皆様が学校に来て子どもたちの為にお力をお貸しくださることは、子どもたちの学びの質を高める意味でも大変ありがたいことです。

権小が「地域の学校」として子どもたちの学力を保障し、豊かな心を育成する「一体感」に包まれていることを実感します。この取り組みを貫くためには、信念が必要です。

駒澤大学陸上競技部の大八木弘明(おおやぎひろあき)監督は、次のように言います。

やはり情熱がなかったら何事も進んでいかない。私がやってきたのもまさにこれで、情熱、本気、信念、執着心、そういうものがなかったらやる気も湧き出てこないし、工夫も創造も生まれてこないし、能力も発揮できません。

だから、信念って持つものじゃなく、貫き通すものだと思っているので、不遇の時でも「まだまだ負けん！」という信念を貫き通す心構えでやってきました。

(「インタビュー・大八木弘明 苦節13年 箱根駅伝日本一への道」『致知』2021-5,25 頁より抜粋)

私たち教職員が、子ども達一人一人に「主体的・対話的で深い学び」を実現し、タブレットで「個別最適化」な学びを創るためには、まさに「情熱・本気・信念・執着心」が必要です。なんとしてもこの子にこの力を育てる。地域の力で権小の子を育てる。そういう信念を貫いて学習を組み、行事を実施し、地域総がかりで子どもの学びを創る。「令和の日本型学校教育」は、地域とともに創るもの。保護者、地域の皆様の一層のご支援とご協力をお願いします。

